

私立大学図書館協会 2011 年度第 1 回協会ホームページ委員会議事要録

日 時：2011 年 4 月 25 日(月) 14：30～18：00

場 所：関西大学総合図書館 第一会議室

出席者：野原 文子（立教大学）、千葉 久仁子（明治学院大学）、黒川 孝明（代理：東京農業大学）、中村 直美（愛知大学）、安東 正玄（立命館大学）、村上 諭司（桃山学院大学）、社家 彰夫（広島修道大学）、井上 瑞枝（広島工業大学）、廣松 亜矢子（熊本学園大学）、梅田 順一（明治大学）、濱生 快彦（関西大学）、渡来 達也（中央大学・前年度委員長）

[敬称略]

[配布資料]

- ・2011 年度私立大学図書館協会第 1 回ホームページ委員会議事次第
- ・平成 23 年度活動方針について(案)
- ・私立大学図書館協会 2011 年度第 1 回ホームページ委員会配布資料一覧

[議題]

1. 私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会HPの更新等状況報告
2. 2011 年度協会ホームページ委員会の活動について
3. 「東日本大震災で被災された地域の大学図書館に対する支援」ページ公開について
4. 2011 年度活動内容について
5. その他

今年度第 1 回目の委員会でもあり委員の交代があったため、全員で自己紹介を行った後、会長校である立教大学の野原氏が進行役を務め、今年度の役員を選出を行った。各委員は下記のとおりである。

委員長：濱生（関西大学）

会計：村上（桃山学院大学）

アドミニストレータ：梅田（明治大学）

サブアドミニストレータ：安東（立命館大学）

書記：千葉（明治学院大学：輪番制）

以後の進行役は委員長の濱生氏が務めた。第 2 回以降の進行役は輪番制で実施する予定。

[報告事項]

1. 私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会HPの更新等状況報告
東西地区部会、各地区協議会、協会の各HP更新状況について、各委員より報告された。内容としては前任校が年度初めまでの更新を行ったケース、できるところから更新しているケースなどおおむね最低限の更新を行っているが、人事異動や体調不良などにより引き継ぎや更新が滞っているケースも報告された。

*濱生氏より、前任の委員会での決定事項として私大図協のホームページの英語版ページについて、昨年度予算から執行したとの報告があった。

2. 2011 年度協会ホームページ委員会の活動について

前述のとおり役員選出を行った。会計については出納記録を濱生氏、領収書確認を村上氏が行う。

次に「配布資料一覧」(1~34)を基に、ポイントの説明・確認を行った。

(1) WWW 情報資源提供サービスの概要と利用申請手続きについて

- ・ 資料を基に説明を行った。ただし、前委員長の渡来氏より、至急の場合は FAX 等を併用していたとの補足説明があった。
- ・ 活動していないメーリングリストの点検・整理を実施したいので、必要に応じて確認をお願いする旨濱生氏より説明があった。

(2) インフォメーションサービスについて

- ・ 資料を基にサービス内容と ID パスワードの配布方法について説明した。
- ・ 課題として、利用促進を進める必要もある。ID・パスワードの配布方法についても次回委員会までに各自検討することとなった。

3. 「東日本大震災で被災された地域の大学図書館に対する支援」 ページ公開について

【協議事項】

1. 「東日本大震災で被災された地域の大学図書館に対する支援」 ページ公開について

野原氏より、配布資料 34 をもとに報告があった。

加盟館へメールで本 Web ページ公開を連絡し、回答があった館についての情報を掲載している。

支援策を常任幹事会で協議した。東地区部会 260 校にアンケート(被災状況・今の状況・どんな支援を望むか)を実施し、支援の要望を集約してから結果報告および支援方法を検討する予定。

また、支援状況に関する情報収集にはメールを活用したが、協会ホームページ委員会で管理するメーリングリストとして、全加盟館対象のものを作成すること、およびメールアドレスの収集方法等について検討することになった。

2. 2011 年度活動内容について

(1) 協会ホームページ及び、各地区部会協議会、研究部ホームページに関する、情報発信機能の見直し及び、メンテナンスの外注化に関する検討

- ・ 委員会は 50 万の予算だが予備費として 300 万円まで支出できるとの説明があった。

検討理由として、①HP そのものの構成が地区・協議会でまちまちなため均一にする ②誰でも委員を引き受けられるような運用に整える、の 2 点があげられた。またアドミニストレータについても通常の図書館業務では身に付かないスキルが別途必要なため、将来的な見通しが難しくなる可能性がある点もあげられた。

これについて渡来氏より、タイムスケジュールを考慮した迅速な検討が必要であり、具体的には来年の3月の第2回東西合同役員会で提案できるよう進める必要があるとの指摘があった。

これについて①CMS②作業の外注化の2つについて、次回7月の委員会までに各自意見を考えてくることとなった

(2)協会ホームページからの動画配信サービス実施の可能性に関する検討

講演会など、出席できなかった行事を動画で見たいという要望があるため、これを検討していく。

検討にあたり、動画の撮影・配信に関する講演者への許諾依頼等の事務的事項については、会長校と協議していく。

(3)安東氏より、必要なファイルは協会サーバにおけるとよい。閲覧のための認証をどのようにするか検討が必要であるとの指摘があった。

3.その他

(1)第2回委員会について

開催日は未定(7月上旬。8日または15日)。

場所は広島工業大学で調整することとなった。

以上